

G I G Aスクール構想の実現に向けた計画

(1) ICT活用計画及び達成状況を踏まえたフォローアップ計画

各年度におけるICT活用の目標値及びその達成状況を踏まえたフォローアップの内容について記載する。

○各年度におけるICT活用目標

■ICT活用について

<2019年度> (状況)

- ・各学年において月2回程度活用。

<2020年度> (現状及び目標)

- ・2月末までに全学年に1人1台端末を整備予定。

<2021年度> (目標)

- ・各学年において、各クラス1日1回以上活用。

<2022年度> (目標)

- ・各学年において、各クラス1日2～3回以上活用。

■臨時休校や分散登校期間中等におけるICTを活用したオンラインによる学習支援

- ・Web会議システムを利用した学活等を実施。
- ・学校ホームページに専用ページを設け、学習用動画等を配信。
- ・学習支援ソフト等を用いて課題の配信・回収・レビューを実施。
- ・(感染症による休校時等においては) 1日1単位時間を目安に、Web会議システムを利用し、同時双方向の遠隔・オンライン教育を実施。
- ・整備を行った端末の利用を基本として家庭でオンライン学習を行う。家庭に通信環境がない場合は、学校のWi-Fi環境を利用する。

○指導体制の強化や働き方改革(校務の効率化)への対応

- ・ICT支援員を以下の予定で配置し、授業支援、校務支援、環境整備、校内研修等のサポートを行う。

2020年度・・・〈授業支援等〉9校に1人 〈校務支援等〉6校に1人

2021年度・・・〈授業支援等〉4校に1人 〈校務支援等〉6校に1人

2022年度・・・〈授業支援等〉4校に1人 〈校務支援等〉6校に1人

- ・クラウドサービスの自動採点や自動集計できるフォームを利用したり、児童生徒への課題等もクラウド上で配布しペーパーレス化することで、授業準備や採点・集計の負担を軽減。また、情報共有や連絡を校務支援システム上で実施することで校務の効率化を推進。

○達成状況を踏まえたフォローアップ

- ・各年度終了後、各学校の活用状況をとりまとめて学校に公表。目標未達成の学校につ

いては、ICT活用に関する研修を実施。

- ・各年度の教員のICT活用指導力調査の結果を踏まえて、教員を対象とした研修を実施。

(2) 通信ネットワーク環境整備計画

1人1台環境で支障なくICTを活用した学習活動を行うことができる高速大容量の通信ネットワーク環境の整備計画について記載する。

○校内LAN整備計画

- ・各学校について、「公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金」を活用し、令和2年度中に1Gbps（LAN10Gbps・SW1Gbps）の校内LAN環境を整備予定。
- ・インターネット回線（WAN）については、光回線/ケーブルテレビにより、令和3年度中に増強し、同時利用率を考慮して1台あたり2Mbps程度の通信帯域を確保する。

(3) 学習者用コンピュータ配備計画

一般財源（地方財政措置の活用を含む）又は端末補助事業により整備する、1人1台学習者用コンピュータの配備計画について記載する。

○端末整備計画

- ・各学年について1人1台の端末を令和2年度中に整備予定。

(4) 広域・大規模での共同調達実施計画

端末の整備に当たって、都道府県単位又は複数市町村等による共同調達を行う場合にはその概要を記載する。

○共同調達の実施の有無

実施なし ※県の共同調達時期に予算化が間に合わなかったため

(5) 計画の取扱い等に関する事項

本計画の位置付けや公表などの取扱いについて記載する。

- ・本計画は、教育委員会に諮った上で国に提出後、市のホームページで公表する。